

翔陽高等学校サッカー部に所属する金田さんは、フォワードで俊足を武器に前線からチームの流れを作っている。「一人一人がチームを引っ張る人になってほしい」という監督の思いからキャプテンは置かず、チーム全体で練習に励んでいる。(赤のユニフォームが金田さん=写真)



Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2022 3

発行・編集 大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100 印刷 株式会社
R2100 印刷株式会社
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使用しています。

「人の役に立てる存在になりたい」
夢の選択肢が広がる高校へ



かねだ そういちろう
金田壮一郎さん(新小屋)

翔陽高等学校2年の金田壮一郎さんは、普通科で政治経済を学んでいる。在学中に成人を迎える金田さんに成人への思いを聞く。

金田さんが在学する翔陽高校には、普通科列や農業系列、工業系列、商業系列、家庭系列の5つの系列がある。入学後のアンケートのもと希望する系列で学び、さらに自分のやりたいことに合わせて2年次で系列を選び直すことができる。金田さんは、1年次に工業系列で学ぶも、自分のやりたいことを見つけ普通科系列を専攻することにした。

見つけた夢は、公務員。海上自衛隊である父の姿を幼いころから見てきたことが影響している。世の中の情勢を学び、課題を解決するためのスキルを「政治経済」で学ぼうと考え、普通科系列で学びを深める。新聞を読み、学んだことをまとめ授業で発表する「NIE新聞」という授業がある。これにより、これまで浅く読んでいた新聞をじっくり読むようになった。夢実現のため授業を生活にも生かす。

金田さんは、翔陽高校の生徒が行う、学校近くの道路や昭和園の清掃活動には自発的に参加している。ボランティアは今に始まったことではなく、中学生の時は、保育園の手伝いを行うなど以前から積極的に活動した。ボランティアに精を出すのは「将来は公務員になって、人の役に立てる仕事に就きたい。だからこそ、今の自分ができることをやっている」と真剣なまなこを見せる。

成年年齢が引き下がることを知っても、初めは実感が湧かなかったという金田さんだが、「目の前に成人という壁が近づき、いつまでも親や先生に頼ってばかりいられない。在学中に成人を迎える最初の代として、責任と自覚を持って過ごしていきたい」と決意を話す姿は、すでに大人への道を歩み始めていた。

こゝろの声

▼待ちに待ったゾロ像が大津町にやってきましたね。除幕式は、無観客での開催となりましたが、式典後はゾロ像を楽しみにしているお客さんたちが訪れ、撮影を楽しまれました。昼間のゾロ像はともかくいいのですが、夜のゾロ像も好きで、たまたま行った日に月暈がでていました。その時の写真を載せています。皆さんはどの位置から撮る・見るゾロ像が好きですか。ベストショットが撮れた時は、教えてください(5)



からいもくん便り
大津町総合情報メール

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



二次元バーコード



UD FONT
異やずく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ 3

MARCH. 2022

今月のみどころ

- 都市対抗野球大会を終えて
～企業スポーツチームある大津町～(2～3ページ)
- 大津高等学校サッカー部が表敬訪問に(4ページ)
- 熊本復興プロジェクトのゾロ像がお目見え!
除幕式を行いました(5ページ)
- 4月から成年年齢引き下げ
「私たち、成人になります!」(6～9ページ)

お前らも一緒に鍛えるか!

災害に強い町を
目指して!

